

●ようばけ “陽の当たる崖(ハケ)”から名付けられた新第三系の奈倉層が露出する巨大な崖。カン化石などが発見されている。「日本の地質百選」にも選定されている。

学びどころ いっぱい! ジオパーク秩父・マップ



●犬木の不整合 下部の黒い頁岩層(1億3千万~1億年前の地層)と、上部の砂礫層(1千7百万年前の地層)との不整合が見られる。



●毘沙門水 白石山(別名:毘沙門山)の湧き水。環境省の「平成の名水百選」にも選定された名水。カルシウム分とミネラル分が豊富な自然水。



●棕神社(龍勢祭り) 例大祭「龍勢祭り(10月第2日曜日)」で、27の各流派の作るロケットが奉納され、打ち上げられることで有名。アニメ「あの花」の舞台設定のモデル。



●栗谷瀬橋(蛇紋岩と石綿) クリソタイル(石綿(アスベスト)の原料)という繊維状の鉱物が含まれる深い緑色の「蛇紋岩」の露出が見られる。柔らかく地すべりを起こしやすい。



●秩父華厳の滝 札所34番水潜寺近くにある落差12mの滝。赤い岩肌(チャート)が印象的な美しい滝である。



●野上下郷石塔婆 応安2年(1369年)建立の日本一大きい石塔婆。高さ5m、厚さはわずか12cm。緑色片岩の薄くはく離しやすい性質を利用し、石碑として多用された。



●秩父華厳の滝 札所34番水潜寺近くにある落差12mの滝。赤い岩肌(チャート)が印象的な美しい滝である。



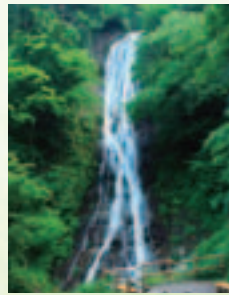
●秩父華厳の滝 札所34番水潜寺近くにある落差12mの滝。赤い岩肌(チャート)が印象的な美しい滝である。



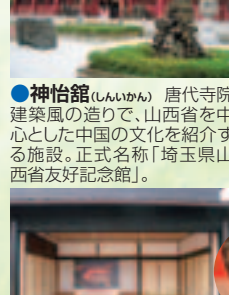
●秩父華厳の滝 札所34番水潜寺近くにある落差12mの滝。赤い岩肌(チャート)が印象的な美しい滝である。



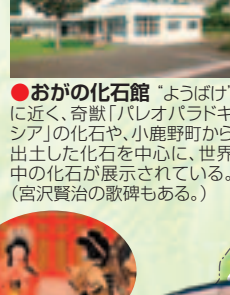
●秩父華厳の滝 札所34番水潜寺近くにある落差12mの滝。赤い岩肌(チャート)が印象的な美しい滝である。



●丸神の滝 環境庁(現:環境省)の「日本の滝百選」に選定された名瀑。落差76m・3段の滝で四季折々の美しい姿を見せてくれる。



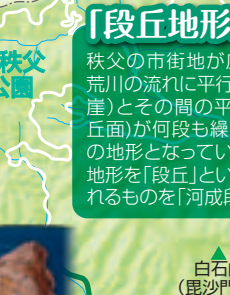
●神代寺 建築風の造りで、山西省を中心とした中国の文化を紹介する施設。正式名称「埼玉県山西省友好記念館」。



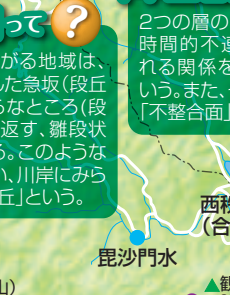
●おがの化石館 “ようばけ”に近く、奇獣「パレオパロドキシア」の化石や、小鹿野町から出土した化石を中心に、世界中の化石が展示されている。(宮沢賢治の歌碑もある。)



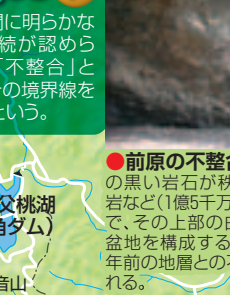
●小鹿野町観光交流館 小鹿野町の古き行まいを今に残す「日本陣寿旅館」を改修し、小鹿野歌舞伎や祭といった文化を紹介。宮沢賢治が宿泊した記録も残る。



●小鹿野町観光交流館 小鹿野町の古き行まいを今に残す「日本陣寿旅館」を改修し、小鹿野歌舞伎や祭といった文化を紹介。宮沢賢治が宿泊した記録も残る。



●小鹿野町観光交流館 小鹿野町の古き行まいを今に残す「日本陣寿旅館」を改修し、小鹿野歌舞伎や祭といった文化を紹介。宮沢賢治が宿泊した記録も残る。



●小鹿野町観光交流館 小鹿野町の古き行まいを今に残す「日本陣寿旅館」を改修し、小鹿野歌舞伎や祭といった文化を紹介。宮沢賢治が宿泊した記録も残る。



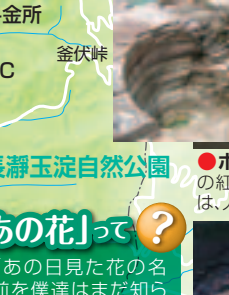
●小鹿野町観光交流館 小鹿野町の古き行まいを今に残す「日本陣寿旅館」を改修し、小鹿野歌舞伎や祭といった文化を紹介。宮沢賢治が宿泊した記録も残る。



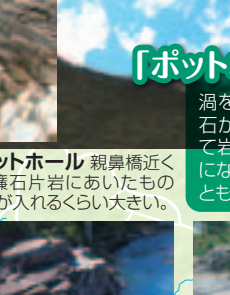
●小鹿野町観光交流館 小鹿野町の古き行まいを今に残す「日本陣寿旅館」を改修し、小鹿野歌舞伎や祭といった文化を紹介。宮沢賢治が宿泊した記録も残る。



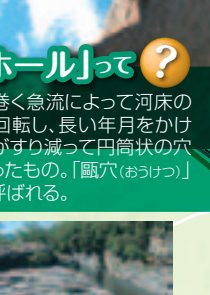
●小鹿野町観光交流館 小鹿野町の古き行まいを今に残す「日本陣寿旅館」を改修し、小鹿野歌舞伎や祭といった文化を紹介。宮沢賢治が宿泊した記録も残る。



●小鹿野町観光交流館 小鹿野町の古き行まいを今に残す「日本陣寿旅館」を改修し、小鹿野歌舞伎や祭といった文化を紹介。宮沢賢治が宿泊した記録も残る。



●小鹿野町観光交流館 小鹿野町の古き行まいを今に残す「日本陣寿旅館」を改修し、小鹿野歌舞伎や祭といった文化を紹介。宮沢賢治が宿泊した記録も残る。



●小鹿野町観光交流館 小鹿野町の古き行まいを今に残す「日本陣寿旅館」を改修し、小鹿野歌舞伎や祭といった文化を紹介。宮沢賢治が宿泊した記録も残る。

秩父は海だった?

地層を調べると、秩父はなんと海の中にあったとわれている。秩父盆地の川沿いからは、クジラや魚、貝、カニなどの化石が見つかり、武甲山の山頂からも貝の化石が見つかった。

「パレオパロドキシア」って?

高校生により荒川岸の崖(約1500万年前の地層)から発見された。当時の秩父盆地は東方に開く入り江であったとされ、「パレオパロドキシア」は、絶滅した哺乳類の束柱目に属し、歯の形はノウの祖先にもジュゴン仲間にも似ているので、「古い(パレオ)矛盾したもの(パロドキシア)」と名づけられた。目・鼻・耳の位置から、ワニやカエルのように水陸両用の生活をしていただとされている。



●栃本関跡 江戸から甲府を経て中山道に通じる甲州街道の裏街道でもある「秩父往還道」に設けられた関所。「日本の道百選」にも選定されている。



●奥秩父もみじ湖(滝沢ダム) 荒川水系中津川に建設された高さ140m・埼玉県内最大規模のダムによる人造湖。秩父多摩甲斐国立公園内にある。



●秩父湖(二瀬ダム) 氾濫を繰り返す「荒川」の治水対策として建設された、高さ95mの重力式アーチダムによる人造湖。秩父宮妃殿下の命名。



●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



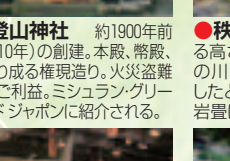
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



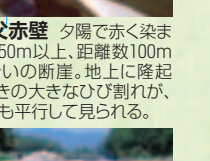
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



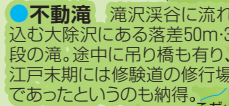
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



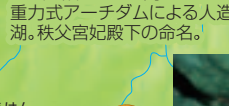
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



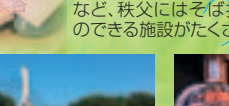
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



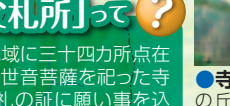
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



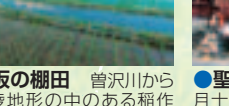
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



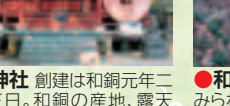
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



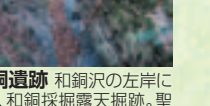
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



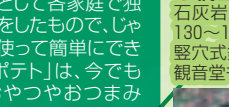
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



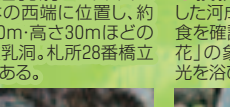
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



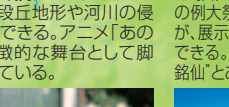
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



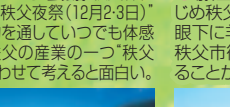
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



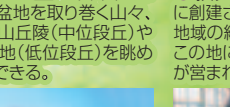
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



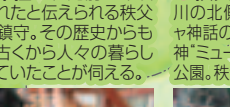
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



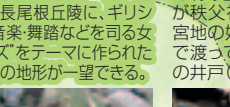
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



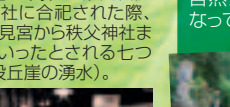
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



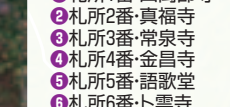
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



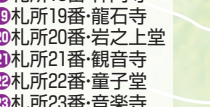
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



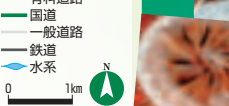
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



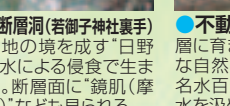
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



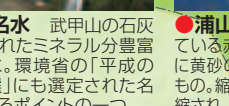
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



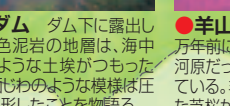
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



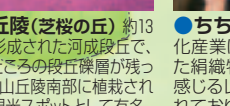
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



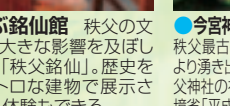
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



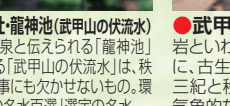
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



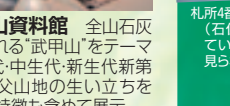
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



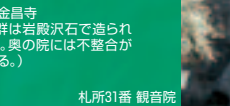
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



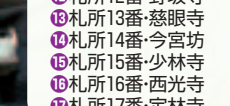
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



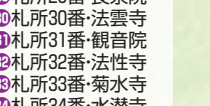
●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。



●不動滝 滝沢溪谷に流れ込む大谷川にある落差50m・3段の滝。途中に吊り橋もあり、江戸末期には修験道の修行場であったといわれる。